

## 資料A：大杉委員提出資料

### 薬害教材についての意見

岐阜大学  
大杉昭英

以下の箇所について修正案を考えました。ご検討下さい。

#### 1 【p 2】「薬害ってなんだろう？」の学習ポイント（修正箇所）

##### ①（ポイント1の内容の修正案：下線部分）

現行：「薬害にはどのようなものがあったか言えるようにしよう。」

修正：「年表に示された薬害はどのようなものだったか確認しよう。」

##### ＜修正理由＞

このページにすべての薬害が出ているわけではないのに、生徒は薬害がこれだけだと理解する可能性がある。また、「言えるように」というのは暗記を求めているように思われる。知ることをねらいとするのであれば「言える」までも求めなくてもよいと考える。

##### ②（ポイント2の内容の修正案：下線部分）

現行：「ここで紹介した薬害には、どのような共通点があるのか考えてみよう。」

修正：「年表中の薬害について解説した文章を読み取り、薬害発生についてどのような共通点があるのか考えてみよう。」

##### ＜修正理由＞

現行では「ここで紹介した薬害には」となっているが、年表で紹介された薬害には、解説のあるものと無いものとがあり、何が共通点なのか生徒が考えることができない。生徒にどのような学習活動を行わせるのか具体手的な指示が必要である。

#### 2 【p 6】「どうすれば薬害が起こらない社会になるのだろう？」の説明、図、学習ポイント（修正箇所）

##### ①（説明の修正案：下線部分）

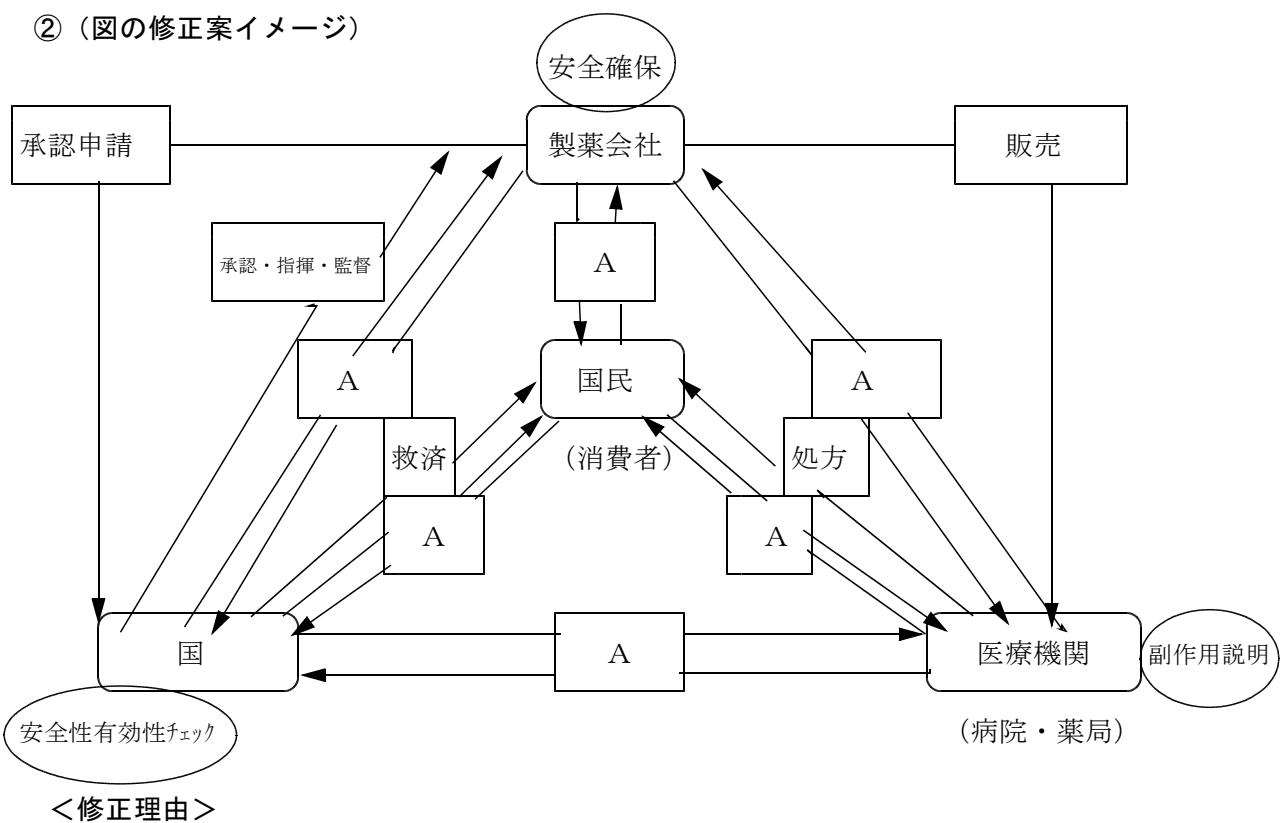
現行：「どうやら薬害は、社会の仕組みがそれぞれの役割を果たしているかどうかと関係があるようです。薬を作る製薬会社、薬を承認する国、薬を処方する薬剤師、そして薬を使う私たち。社会の仕組みの中で、それぞれがどのような役割をしているのでしょうか。」

修正：「どうやら薬害は、下図に示された社会の仕組みがうまく働いているかどうかと関係があるようです。社会の仕組みがうまく働くことができるよう、薬を作る製薬会社、薬を承認する国、薬を処方する薬剤師、そして薬を使う私たちがそれぞれがどのような役割を果たせばよいのか考えてみましょう。」

##### ＜修正理由＞

現行では「社会の仕組みがそれぞれの役割を果たしているかどうか」となっているが、「仕組み」と「仕組みを支える人」が混在していると思われるので、社会の仕組みがうまく働くことが必要であり、そのためには「仕組みを支える人」がそれぞれの役割を果たすことが大切であるという趣旨にした方がよいと考える。

## ② (図の修正案イメージ)



現行の図は内容の正確さを求めるために様々な文章が入っていると思われるが、生徒にとって複雑な図だと感じさせる可能性が高いので、文章を整理して示した方がよいと考える。同じものについては枠囲いをして記号化するなどして図を簡単にすることも考えられる。また、図で使用している矢印については、教科書等では一般に、片側だけの矢印が因果や時間の前後、指示などを示し、両側矢印は相関や対立などを示すことが多い。こうした学習を行ってきた生徒には現行の図の両側矢印の意味が分かりにくいと思われる所以、片側矢印を使って図を作成する方がよいと考える。

### ③ (ポイントの内容の修正案 : 下線部分)

現行：ポイント1だけである。

修正：ポイント2を加える（内容は以下のもの）

「図中のAには何が入るか考えてみましょう。」

\*最後のページに答えとして「副作用情報の伝達」を書いておくことなどが考えられる。

### 3 全体的な観点から（可能であれば）

- ①教材の中にある文章にも可能であればふりがなを付ける。  
(中学校教科書ではかなり「ふりがな」が付けられている。)

- ②冒頭ページに教材の概要説明として、例えば次のような内容が挿入できれば教師と生徒もどのような学習をすればよいか、ねらいがつかみやすい。

この教材は、「薬害を知り、被害にあった方々の声を聴き、薬害発生プロセスを学び、薬害が起らない社会の仕組みを考える」ためにつくられています。